

取り付けと接続

警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。



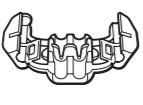
NVX-FW80

Sony Corporation ©1998 Printed in Japan

取り付け / 接続部品(付属)

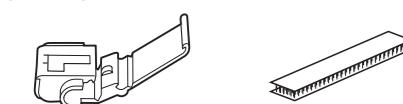
地図ディスクプレーヤー用

- ① 電源コード
- ② 電源延長コード
- ③ 圧着式コネクター(赤)



エクステンションユニット用

- ④ 圧着式コネクター(ピンク)×2
- ⑤ マジックテープ(大)×2



モニター用

- ⑥ スタンド
- ⑦ 固定用ネジ×3
- ⑧ スタンドカバー
- ⑨ クリーニングクロス



GPSアンテナ用

- ⑩ コードクランパー×2
- ⑪ クッション
- ⑫ コードクランパー×5
- ⑬ 両面テープ×2



リモコン用

- ⑭ リモコンホルダー



⚠️ 警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災 感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

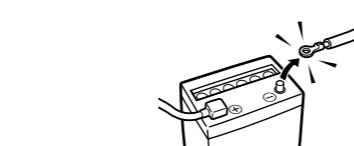
⚠️ 警告 火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に取り付けない
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に動かず、けがの原因となります。



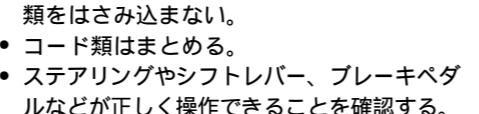
ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用すると、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

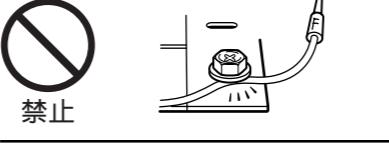
電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。

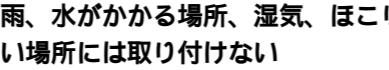
コード類はまとめる。

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

⚠️ 注意 下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



本機の通風口や放熱板をふさがない

フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。



TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



アンテナは確実に両面テープで固定する

車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

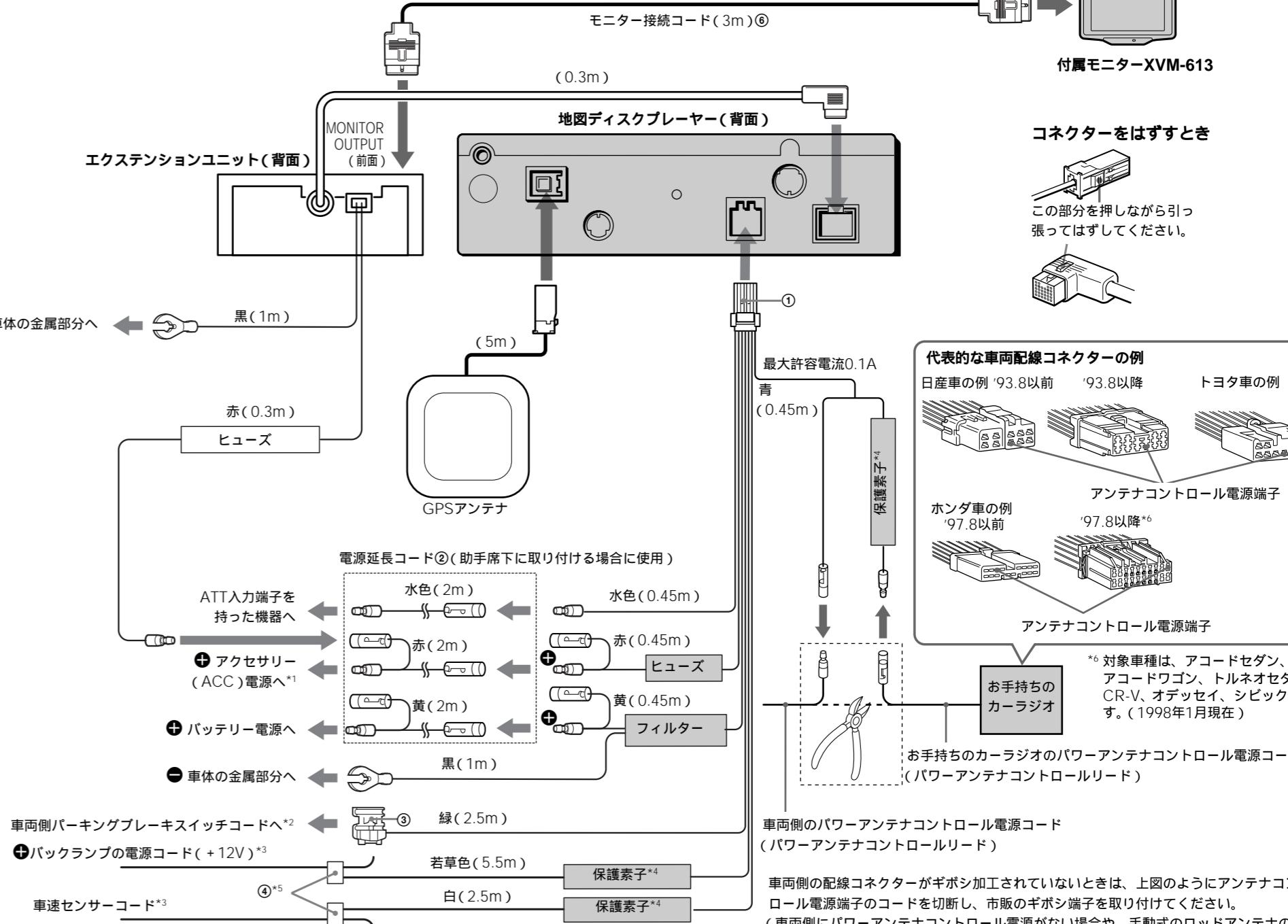
接続

ショート事故を防ぐために

作業中のショート事故防止のため、電源コード(赤色コードと黄色コード)の接続は、接続作業の最後に行なうか、バッテリーのマイナス端子をはずしてから行なうようにしてください。
(ただし、ドライブコンピューターやカーオーディオが取り付けてある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすと、コンピューターやカーオーディオのメモリーの内容がすべて消える場合がありますのでご注意ください。)

ご注意

- ・地図ディスクプレーヤーとチューナー類は、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出ることがあります。
- ・地図ディスクプレーヤーとエクステンションユニットをトランクルームに取り付ける場合は、電源延長コード②のかわりに別売りの電源延長コードRC-129P(5m)やモニター延長コードRC-116M(4m)をお使いください。



車速センサーコード/バックランプの電源コードの接続について

自走センサー用の白色コードを車速センサーコードに接続しないと正確な測位ができません。また、バックランプの電源コードを接続しないと、車両後退時の誤差が生じます。車速センサーコードおよびバックランプの電源コードの位置は車両によって異なりますので、必ずお買い上げ店にご相談ください。

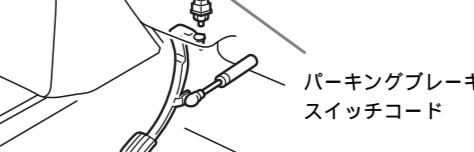
ヒューズの交換

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

パーキングブレーキスイッチコードの接続について

パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、くわしくはお買い上げ店にご相談ください。

パーキングブレーキがフットブレーキの場合



パーキングブレーキがハンドブレーキの場合



圧着式コネクター(赤)③の使いかた

- 1 電源コードのパーキングコード(緑色)の先端に圧着式コネクター③を取り付ける。**
- 2 センサーボックスの白色コードと車両側の車速センサーコードをコネクターにとおす。**
- 3 手順1ではずした金具を取り付ける。**
- 4 ふたをする。**

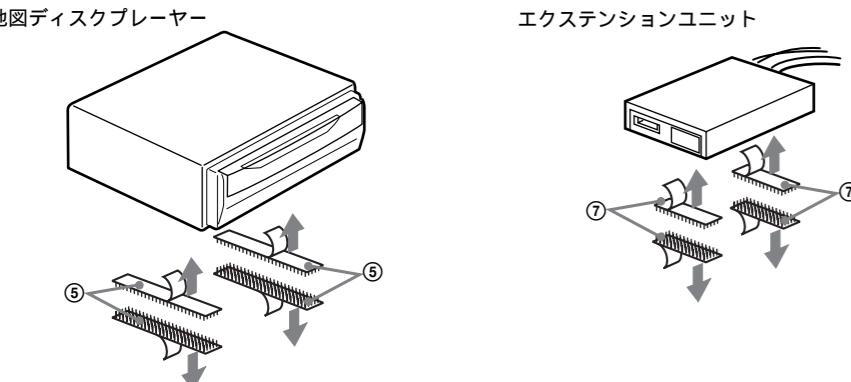


地図ディスクプレーヤーとエクステンションユニットの取り付け

地図ディスクプレーヤーとエクステンションユニットは、マジックテープを使い、助手席の下など、運転の妨げにならない場所に設置してください。

取り付けかた

付属のマジックテープ⑥および⑦で、取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



GPSアンテナの取り付け

車外に取り付ける場合

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所（車外のルーフやトランクリッドなど）に、水平に取り付けてください。

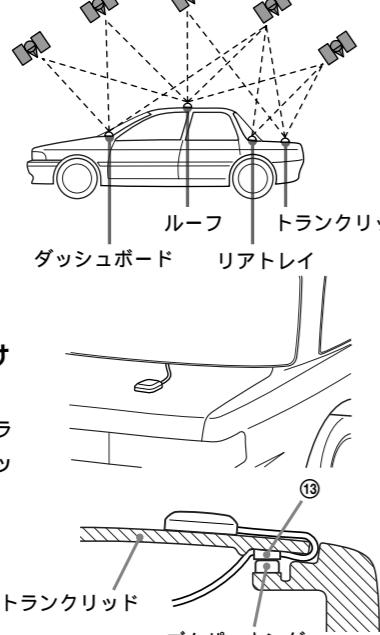
GPSアンテナは磁石で取り付けます。取り付けるときは、ボディを傷付けないように静かに置いてください。

アルミやFRPボディの車に取り付ける場合

アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。

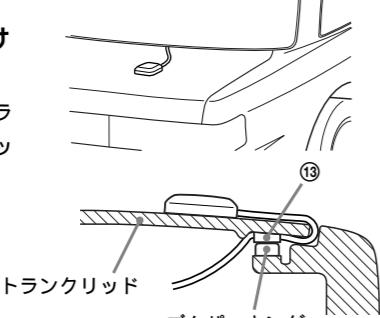
1 トランクリッドなどの上に取り付ける。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



2 トランクリッドの裏側に、クッションを取り付ける。

雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを閉めたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑩が当たるように取り付けてください。



ご注意

- コードを車外でたるませたままにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパー⑪を使用ください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。
- GPSアンテナコードは、GPSの信号とGPSアンテナへのDC電源が通っています。配線にあたっては、車体可動部への込み込みにご注意ください。コードを破損すると、GPSアンテナおよび本体（地図ディスクプレーヤー）の故障の原因になります。

アンテナの塗装について

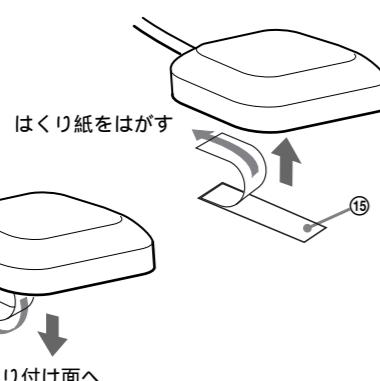
アンテナは車のボディーカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗装（メタリック系の塗装など）は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにアンテナを分解しないでください。

車内に取り付ける場合

- アリトレイヤダッシュボードに取り付けてます。
- 平らな位置に、アンテナが水平になるように取り付けてください。
- できるだけ角度が大きくなるような場所に取り付けてください。また、GPS衛星からの電波を遮るものがない場所を選んで取り付けてください。車内に適する場所がない場合は、車外のトランクの上などに取り付けてください。

1 アンテナに両面テープ⑬を貼り付ける。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

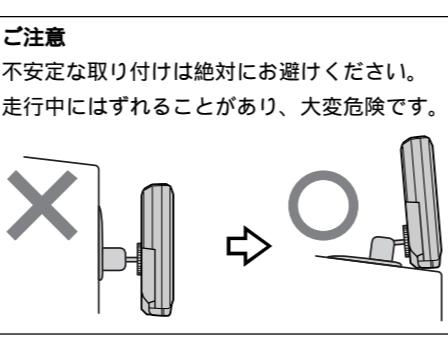


ご注意

一部のウィンドウガラス（フロント、リアとも）には、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、一度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

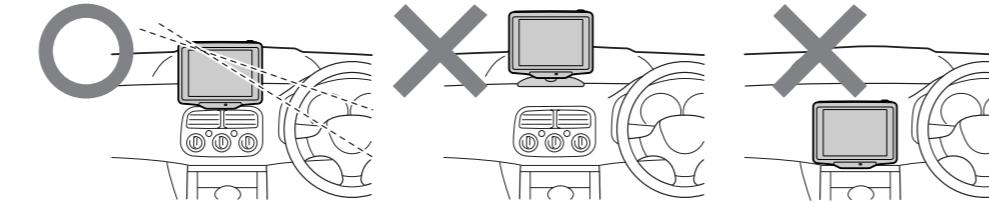
モニターを取り付ける前に

モニターは、安全性を重視して設計されてあります。
正しい位置に確実に取り付けを行ないと、事故の原因となり大変危険です。
取り付ける前に、必ず下記事項の確認を行なってください。
助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。



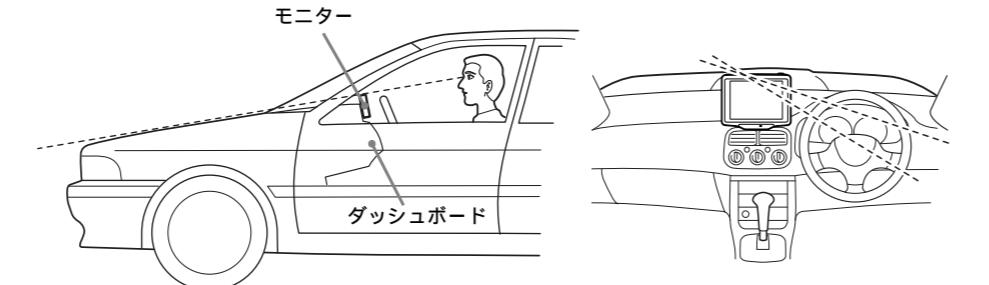
取り付け位置

前方視界を妨げることなく、また運転中極端に視線を動かさずにするために、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。



取り付け位置のポイント

- 運転者から見たときに、モニターがボンネットの先端よりも上に出ない。
- 極端に目線を下げる位置に設定しない。

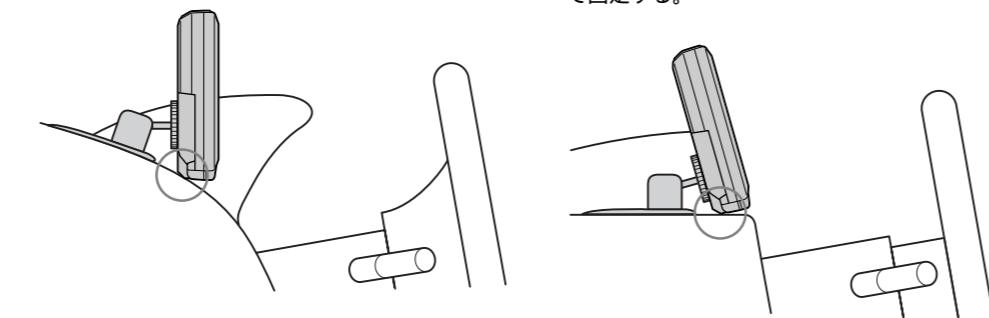


取り付け例

車の振動などによるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。

ダッシュボードが曲面の場合

モニター底面をダッシュボードにあてて固定する。



ご注意

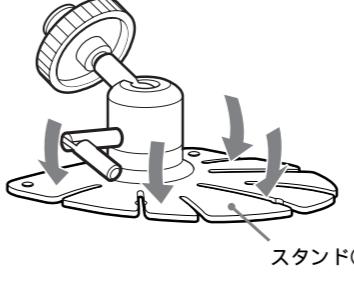
モニターは極端に低温または高温になる場所には取り付けないでください。（キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。）また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、日光が直接当たらないようにしてください。

モニターの取り付け

「モニターを取り付ける前に」の項目をご覧のうえ、設置しようとする場所で正しい取り付けができることを確認してから取り付けを行なってください。

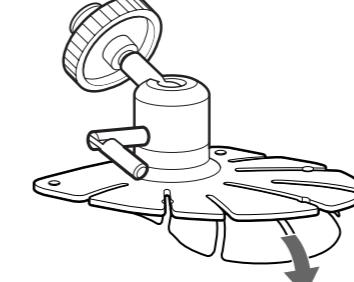
1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑮を曲げる。

曲げすぎて、スタンドが浮かないようにご注意ください。



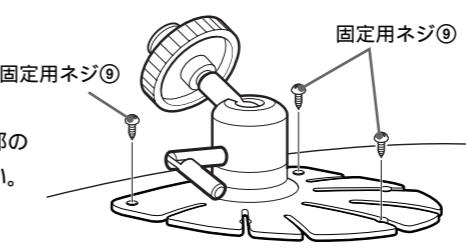
2 クリーニングクロス⑯で取り付け面の汚れを取る。

3 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける。



4 固定用ネジ⑭で固定する。

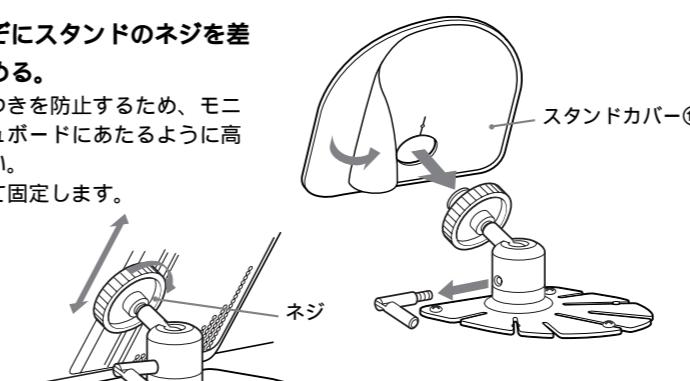
取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。



5 スタンドカバー⑮を接着する。

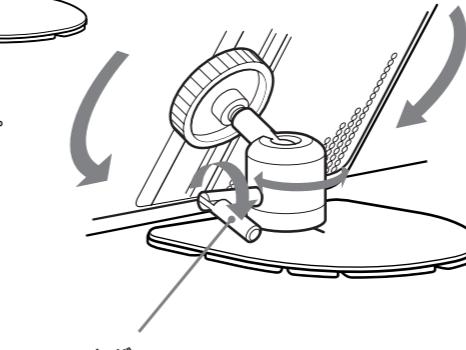
6 モニター背面のみにスタンドのネジを差し込み、高さを決める。

車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。
調節後はネジを締めて固定します。

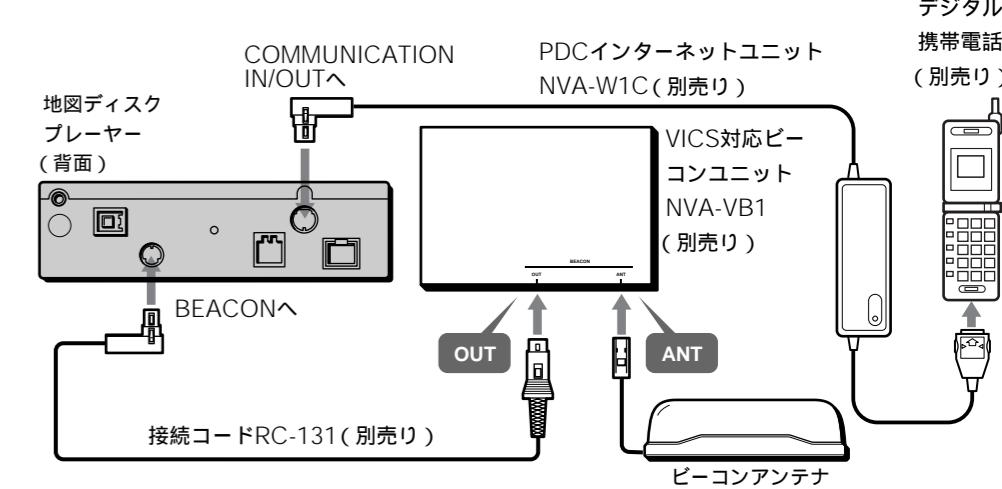


7 レバーをゆるめて角度を調節する。

調節後はレバーをしっかりと締めて固定します。



別売り機器と接続する



ご注意

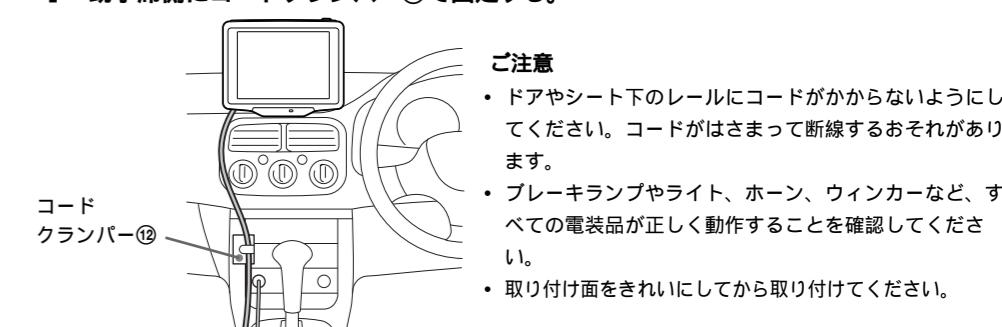
- CD/ROMチェンジャーCDX-R61やATISユニットXA-160A/165Aは接続できません。
- 一部のデジタル携帯電話は使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

取り付けと接続が終わったら

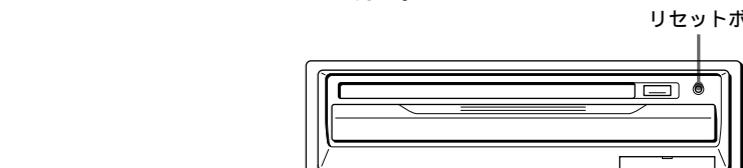
コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。
コードがシフトレバーなどにからまる、非常に危険です。

1 助手席側にコードクランパー⑮で固定する。

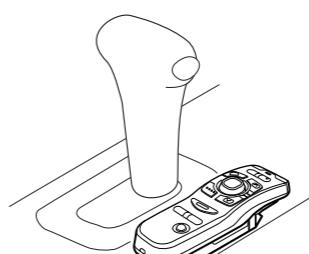


2 車のキーをACCまたはONの位置にして、地図ディスクプレーヤーのリセットボタンをボールペンの先などで押す。



リモコンの取り付け

シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。



ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
・シフトレバー、サイドブレーキなどの操作の妨げになるところ。
・運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになるところ。
・ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのあるところ。

リモコンと受光部が向き合うように、両面テープで取り付ける。
クリーニングクロス⑯で、取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

ご注意

直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

